

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3/CASBEE建築（新築）2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神戸市立春日野小学校	階数	地上4F地下1F
建設地	兵庫県神戸市中央区宮本通7-1-6(3)	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、第二種	平均居住人員	931人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,935時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年1月 予定	評価の実施日	2022年12月15日
敷地面積	6,234 m ²	作成者	(株)坂倉建築研究所大阪事務所
延床面積	2,521 m ²	確認日	
延床面積	6,022 m ²	確認者	矢道弘志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 88%
- ③上記+②以外の: 88%
- ④上記+: 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 4
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 2.9

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.2	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 4.0
配慮の概要 斜面地という敷地条件に対し、校舎配置の工夫による高低差を生かした構成と、スロープ等によるバリアフリーな動線計画を両立しています。また、各階に車椅子使用者利用便房を設置し、主たる接地階(1・2階)にはオストメイトが円滑に利用できる便房を設置するなど、バリアフリーに配慮した学校を計画しています。	配慮の概要 小学校という用途より、大地震に対する安全性の確保を第一とし、靱性の高い建築物として計画しました。中小地震に対しては、揺れを抑え居住性も併せて確保しています。	配慮の概要 既存住宅地のスケールに配慮し、校舎立面の分節化や、道路境界から十分な後退距離を確保した配置とすることで、校舎ボリュームによる圧迫感の軽減に努めます。また、レンガ調タイルや竜山石など、既存校舎の歴史的な記憶を継承した材料と色彩を選定しています。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
神戸市立春日野小学校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築
 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.40			3.3
1 音環境						2.9	0.15	-	-	2.9
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音						3.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		Dr-45以上				1.0	0.30	3.0	-	
2 界壁遮音性能		Lr-50 またはそれより良い				5.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		Lr-50 またはそれより良い				5.0	0.20	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		Lr-50 またはそれより良い				5.0	0.20	3.0	-	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境						2.8	0.35	-	-	2.8
2.1 室温制御						2.6	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.60	3.0	-	
2 外皮性能						2.0	0.40	3.0	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境						3.9	0.25	-	-	3.9
3.1 昼光利用						4.6	0.30	-	-	
1 昼光率		昼光率 2.5%以上				5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		トップライトを採用				4.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		カーテン、庇の2種類を組み合わせで制御				4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		500lx ≤ [照度] < 750lxを確保				4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	-	-	3.6
4.1 発生源対策						5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		内装材(天井材含む)はすべてF☆☆☆☆を採用				5.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気						1.6	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能						1.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		神戸市内小学校は敷地内・建物内のすべて禁煙				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.0
1 機能性						3.1	0.40	-	-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		学校は兵庫県福祉まちづくり条例により義務化				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						2.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						3.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	
3 内装計画						1.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		個別換気、空調系統の分散化				5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		東面に敷地内歩道とそれに沿った緑地帯を配置/1号棟を保存・再	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m] = 0.69	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.72	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水		擬音装置・節水便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	プール貯流水の緊急時の洗浄水利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.1	0.60	-	-	4.1
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		基礎・地中梁に高炉セメントを使用	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		中庭:人工木デッキ、外構:再生クラッシュラン、こどもひろば:ビニル	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+ペンキ仕上または躯体+軽鉄+仕上材、OAフロアを使用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		効率の優れた設備機器による運用時のCO2排出量の抑制	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な搬入スペースの確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.60	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	0.20	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明の採用なし	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	